



地元民芸品のブルーライトアップによる糖尿病啓発活動

糖尿病支援チーム（福字洋子、沖田大樹）

11月14日の世界糖尿病デーでは、世界規模で糖尿病の啓発として、シンボルカラーであるブルーでライトアップするイベントが各地で開催されています。当院でも毎年、地域の方々に協力していただき、柳井市役所、柳井駅などに飾ってある金魚ちょうちんをブルーに変えて、糖尿病の啓発活動を行っています。



今年は柳井市と協議して、金魚ちょうちんに市の健康づくり計画の標語短冊をつけて泳がせました。ブルーにライトアップされたちょうちんは静かな町並みを幻想的な雰囲気に変えてくれました。

多くの方々にブルーの金魚ちょうちんをみていただき、糖尿病についてご自身を振り返り、予防・治療・療養に関心をもっていただきたいという思いで活動を行っています。啓発活動を通して、地域の皆様に心から親しまれ、信頼され、愛される病院にしていきたいと思えます。

